

文部科学大臣
萩生田 光一 様

全日本教職員連盟
委員長 島村 暢之

文教予算等に関する要望

我が国の教育の正常なる発展に対する貴職の格別なる御尽力に対して、教育に直接携わる教職員団体として、心から感謝するとともに深甚なる敬意を表します。

さて、私たち全日本教職員連盟（全日教連）は、結成以来「美しい日本人の心を育てる」ことを揺るぎない理念とし、日本の教育正常化に努めるとともに、国民の負託に応え、子供たちに豊かな心と確かな学力を育成するための活動を展開しております。

現在、学校現場においては、新学習指導要領が完全実施となり、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、また来る Society 5.0 時代の新たな社会を牽引する人材の育成等様々な施策が進められています。また、中央教育審議会から出された「新しい時代の初等中等教育の在り方論点取りまとめ」では、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力の育成について示されました。ここで示されたような新しい教育を実現するためには、学校における働き方改革を着実に進め、これまでの学校の常識にとらわれない大胆な変革が必要です。

また、学校における新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業では、児童生徒の学力の保障や安心・安全な教育環境の維持が非常に重要です。

こうした中、国が責任をもって十分な予算を確保し、教職員等の増員を図ることや教育環境整備を推進することが不可欠であると考えます。

つきましては、文教予算等について、関係省庁と御協議の上、下記要望の実現に向けて御高配くださいますようお願いいたします。

記

※1 新型コロナウイルス感染症対策について、児童生徒の学びを保障するとともに安心・安全な学校運営を可能とするための予算を確実に確保すること

- (1) 学校の臨時休業が長引く地域においては、児童の安全・健康状態の確認、オンライン授業やデジタル教材学習を自宅で行うため、GIGA スクール構想に係る児童生徒への PC の貸与等を前倒しすること
- (2) マスク・消毒液・電子体温計等の必要な物品の配布及び備蓄について、補正予算で対応すること

2 教育の質の維持向上及び今日的な教育諸課題へ迅速に対応するため、学校における働き方改革に資する基礎定数・加配定数の拡充、及び専門人材の配置拡充をより一層図ること

- ※(1) 小学校高学年に教科担任制を導入する際には、教職員定数の改善を前提とし、教師 1 人当たりの持ちコマ数を減らすこと
- (2) スクール・サポート・スタッフや部活動指導員、スクールロイヤーの更なる配置拡充を行い、配置状況を公表すること

3 教育の機会均等と教育水準の維持向上のために、地財措置されている教材費等の費用も義務教育費国庫負担に含めること

4 将来に亘って優秀な人材を確保するために、人材確保法の初心に立ち返り、教職調整額や諸手当等の優遇部分の拡充を図ること

※5 教育課程の在り方の検討においては、働き方改革の視点を十分に踏まえ、標準授業時数を削減すること

6 学校における働き方改革推進状況調査結果を基に、改革が進んでいない都道府県及び市区町村教育委員会を指導すること

※7 教師の定年引上げについては、処遇の制度設計を早急に示すこと

8 部活動について、スポーツ庁・文化庁と連携し、社会教育等への移行を見据え、その在り方についての協議の開始及び、受け皿の整備を進めること

9 デジタル教材やオンライン授業等の先進的な事例を収集し、周知すること